授業科目	＊ヒューマンサービス基礎演習(B クラス・山本)					実務家教員担当科目	－
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	山本　佳代子						
授業概要	ヒューマンサービスの専門家として基礎的に必要とされるスキルについて、教員別のグループに分かれ、参加型・体験型の演習プログラム（グループワーク）を中心とした授業を行う。学期の終わりには、演習を通じて学んだことや自分の変化について発表する。 全受講生を３つのグループに分ける。教員３名は各教室に分かれ、第 2 回～第 15 回まで継続して学生の 1 グループを担当する。テーマ、行動目標は共通である。 第 1 回の授業は全体で行う。 テーマ 1　自分を表現し、人との関係をつくる（＃２～４） テーマ 2　グループでの話し合いや共同作業を体験する（＃５～７） テーマ 3　コミュニケーションスキルについて考える（＃８～１１） テーマ 4　協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす（＃１２～１４）						
授業形態	演習			授業方法	グループワーク		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．自分の行動を多面的にとらえることができる。 2．グループ活動に参加し、他者と協力することができる。 3．初めてのことや苦手なことにも前向きに取り組んでいる。
理想的レベル	1．自分の行動を多面的に捉え、継続して見直しを図っている。 2．グループ活動に参加し、他者と協力しながらリーダーシップを発揮することができる。 3．継続して、初めてのことや苦手なことにも前向きに取り組んでいる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	小レポート、最終レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	60%	授業中の発言や行動

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	－	DP2	－	DP3	－	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE11101J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業におけるグループワークを振り返り、文章にまとめる。	1

授業計画

第 1 回	テーマ：オリエンテーション 本演習の到達目標、授業内容を説明する。自己紹介を行う。（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）

第 2 回	テーマ 1：自分を表現し、人との関係をつくる 他者との出会いを体験する（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 3 回	テーマ 1 ：自分を表現し、人との関係をつくる 自分について考え、それを他者に伝える（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 4 回	テーマ 1 ：自分を表現し、人との関係をつくる 他者の考え方や感じ方を理解し、長所を見つける（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 5 回	テーマ 2：グループでの話し合いや共同作業を体験する グループで協力して解決することを体験する（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 6 回	テーマ 2：グループでの話し合いや共同作業を体験する グループの中で意見を出し合うことを体験する（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 7 回	テーマ 2：グループでの話し合いや共同作業を体験する グループで話し合い、役割分担を決め、作業を進める（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 8 回	テーマ 3：コミュニケーションスキルについて考える 情報の伝え手と受け手の相互作用について考える（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 9 回	テーマ 3：コミュニケーションスキルについて考える 言語的コミュニケーション（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 10 回	テーマ 3：コミュニケーションスキルについて考える 非言語的コミュニケーション（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 11 回	テーマ 3：コミュニケーションスキルについて考える アサーティブなコミュニケーション（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 12 回	テーマ 4：協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす リーダーシップについて考える（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 13 回	テーマ 4：協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす チームワークについて考える（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 14 回	テーマ 4：協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす グループで話し合い、問題解決を図る（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
第 15 回	テーマ：まとめ 振り返りを行い、本演習での学びについて発表する（担当：杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子）
テキスト	指定なし。必要に応じてプリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	指定なし。
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。

学生へのメッセージ・コメント	社会福祉を学ぶための土台となる科目であるため、積極的な取り組みの姿勢が必要である。 授業で学んだことを日ごろの生活やボランティア活動などで実践することが望ましい。 また、授業中に扱われた概念やキーワードについて文献等で調べ、理論的にも理解できるようにすることを期待する。